

『官営八幡製鐵所 旧本事務所眺望スペース』の開設について

本市の「官営八幡製鐵所関連施設」を含む『明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域』につきましては、今年夏の世界遺産登録を目指し、8県11市が連携した取り組みを進めているところです。

この「官営八幡製鐵所関連施設」は、現在も製鐵所の構内に立地しているため一般には公開されていませんが、日本の産業発展の歴史を示す貴重な施設であることから市内外の多くの方々に見ていただくため、このたび構成資産のうち「旧本事務所(1899年竣工)」を眺望できる通路を整備いたしましたのでご報告させていただきます。

記

旧本事務所眺望スペースの概要について

- | | |
|----------------|---------|
| ◇眺望スペースの概要について | 資料1のとおり |
| ◇眺望スペースイメージ図 | 資料2のとおり |

<参考>

- * 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の概要について

<担当>
総務企画局世界遺産登録推進室
井上、宮本 (582-2922)

旧本事務所眺望スペースの概要について

◆利用案内

- *名称：官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース
- *開設：平成27年4月17日（金）
- *開場時間：9：30～17：00（16：30最終入場）
- *定休日：毎週月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始
- *入場料：無料
- *アクセス：JRスペースワールド駅から徒歩10分
- *眺望スペースは新日鐵住金(株)八幡製鐵所の敷地を一部借り受けて整備したものです。敷地の借用・利用にあたり敷地内情報管理の観点から『写真・動画の撮影禁止』が条件とされているため、入場者には撮影をご遠慮頂いております。

◆施設概要

- *仕様：総面積 約1,328㎡（コンクリート舗装）
全長 約140m（幅：最広12m、最狭：3m）
- *最大収容人数：想定1,200人
- *整備費用：3,058万円

官営八幡製鐵所旧本事務所について

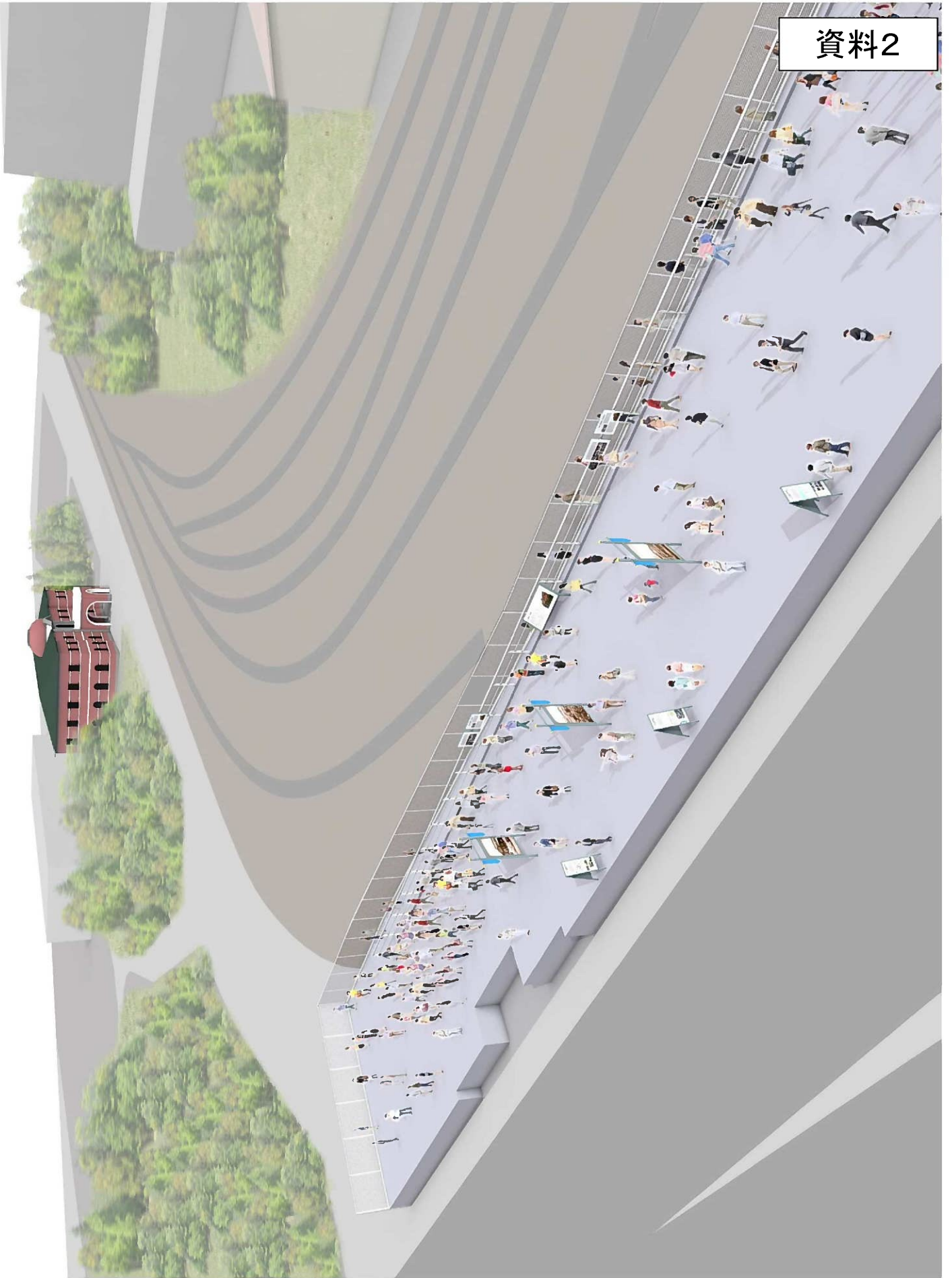


【写真提供：新日鐵住金（株）八幡製鐵所】

八幡製鐵所創業2年前の1899年に竣工した初代本事務所。中央にドームを持つ左右対称形の赤煉瓦建造物で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれた。

1922年、製鐵所の規模拡大に伴って管理機能が移転した後は、鉄鋼研究所や検査室などとして利用された。

資料2



「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の概要について

我が国の産業化は、幕末における西洋技術の導入以来、西洋以外の地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに飛躍的に発展した。これは世界史的にも特筆されるべき稀有な事象といわれる。その大きな原動力となったのが、九州・山口を中心とした「製鉄・製鋼」「造船」「石炭」分野の発展である。

今なお稼働中の工場も含め、各地には関連する産業遺産群が多く存在しており、それらの資産を結びつけたシリアルノミネーション（複合体）として、またこれまでの日本の世界遺産では例のない「稼働している世界遺産」として登録を目指している。

エリア	構成資産		所在地
1 萩	1	萩反射炉	萩市
	2	恵美須ヶ鼻造船所跡	
	3	大板山たたら製鉄遺跡	
	4	萩城下町	
	5	松下村塾	
2 鹿児島	6	旧集成館	鹿児島市
	7	寺山炭窯跡	
	8	関吉の疎水溝	
3 葦山	9	葦山反射炉	伊豆の国市
4 釜石	10	橋野鉄鉱山・高炉跡	釜石市
5 佐賀	11	三重津海軍所跡	佐賀市
6 長崎	12	小菅修船場跡	長崎市
	13	三菱長崎造船所 第三船渠	
	14	同 ジャイアント・カンチレバークレーン	
	15	同 旧木型場	
	16	同 占勝閣	
	17	高島炭坑	
	18	端島炭坑（軍艦島）	
	19	旧グラバー住宅	
7 三池	20-1	三池炭鉱、三池港 宮原坑	大牟田市
	20-2	同 万田坑	荒尾市・大牟田市
	20-3	同 専用鉄道敷跡	大牟田市
	20-4	同 三池港	大牟田市
	21	三角西（旧）港	宇城市
8 八幡	22-1	官宮八幡製鐵所 旧本事務所	北九州市
	22-2	同 修繕工場	
	22-3	同 旧鍛冶工場	
	23	遠賀川水源地ポンプ室	中間市